

関西ビジョン2020

関西、おもしろい！

Dynamic Kansai！

- 関西の「突破力」で世界に貢献 -

< 概要版 >

2008年10月

社団法人 関西経済連合会

ビジョン策定の意義と背景

1. 2020年の関西の“ありたき姿”を示す

今回、概ね10年先となる2020年を見据えて、主として産業面からみた「関西のありたき姿」、およびそれを実現するための取り組みを示した「関西ビジョン2020」を策定。

2. 「100日タスク」が発端

「関経連の今後の活動方針 = 『100日タスク』の検討結果について =」（2007年10月公表）において、「強い産業」「アジアとの共生」「地域の自立 - 関西はひとつ」を実現するための「関西産業ビジョン(仮称)」「アジアとの共生ビジョン(仮称)」の策定を表明。

3. 前回ビジョン策定から世界は大変化

1999年12月に「関西経済再生シナリオ」を公表して以降、グローバル競争の激化が、企業間のみならず、国家間、さらに国内での地域・都市間にも波及。「新たな発展」のためのビジョン策定が必要に。

. 2020年はどうなる？

今こそ大きなトレンドを展望し、活路を見出さねば衰退あるのみ

1. 地球・世界：

グローバル化の進展により「リスク」と「チャンス」が同時発生。

「リスク」が拡大すれば、「2020年問題^(注)」が顕在化の指摘も。

(注) 著しい人口増加・経済拡大により、これまで右肩上がりに拡大してきた地球上の「人間圏」が、資源エネルギー・食糧などの制約条件に突き当たる(松井孝典・東京大学教授)。

(1) リスク：

地球環境問題の深刻化

資源・エネルギー・食糧問題の急拡大

世界経済の急激な構造変化(過剰流動性によるバブル発生・崩壊など)

安全保障上の懸念(テロ・地域紛争の多発など)

(2) チャンス：

BRICs、NEXT 11など世界中で経済成長の大きなうねり

「リスク」の中に技術開発・新たなニーズ発生などビジネスチャンス拡大

. 2020年はどうなる？(続き)

2. 日本:世界で果たすべき役割は大きいはずなのに...

- (1) 少子高齢・人口減少の進行で活力低下の懸念
- (2) 内向き志向で国際的地位と発言力が低下
- (3) 地方の衰退・社会全体に閉塞感

特に、少子高齢化の進展による社会保障関連費用の急増で国の財政は危機的な状況。

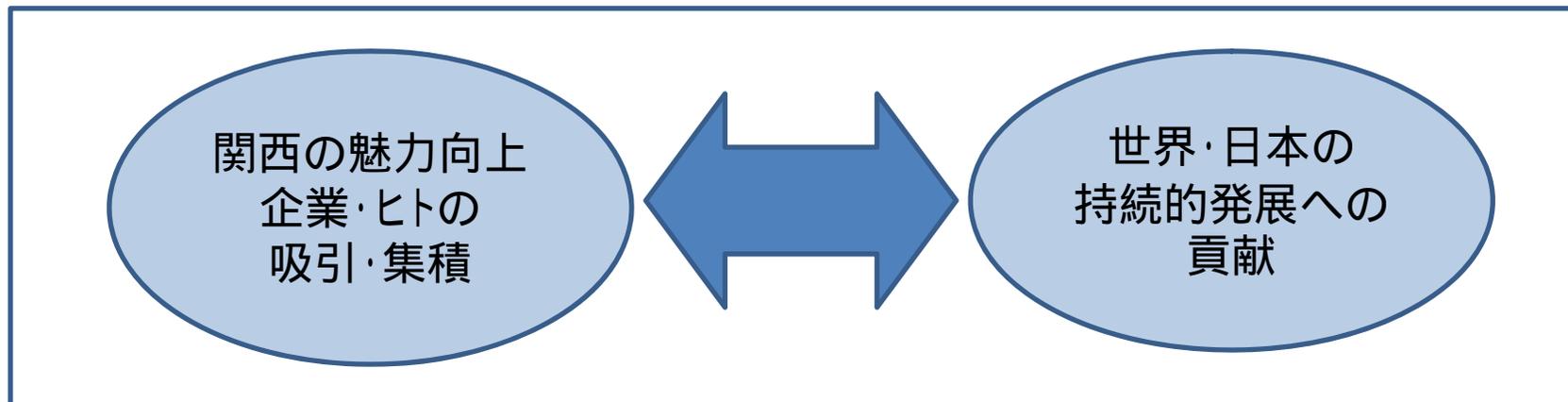
3. 関西:近年は民間投資で堅調に推移してきたが...

- (1) 全国に先駆けて少子高齢・人口減少が進む。
- (2) 自治体財政も危機的状況。
- (3) 内外からヒト・モノ・カネ・情報を集め地域の活性化を図りたいが、
決定力ある施策が打ち出せず

. 2020年 「どうなる？」から「どうする？」へ

従来からの「発想の転換」を！

- (1) 「世界や国から何をしてもらおうか」ではなく、
「世界や日本に貢献」することによって
自らの強みや魅力を高め、発展を図る。
- (2) 2020年の関西の“ありたき姿”を描くと同時に、
現状との乖離を認識し、どの地域よりも
いち早く変革に着手する。



. 2020年 関西の“ありたき姿”とは？

「**関西、おもしろい！ - Dynamic Kansai ! -**」
世界・日本を変える「**突破力**」を発揮して
「**関西、おもしろい！**」と言われる地域に

1. 多様性・活力 関西

多様性(ダイバーシティ)の高まりによって地域に新たな活力が生じる。

多様性は創造性を生み、世界が直面する課題解決への提案も次々に発信。

2. 技術・創造力 関西

多様で層の厚いものづくり基盤産業の集積と大学・研究開発拠点との連携・融合により、世界が希求する革新的な技術、商品・サービスが続々と生まれる。

3. 自立・地域力 関西

世界的な地域間競争のなかで、自ら考え判断し、関西一体となって行動する自立した地域となり、分権型社会を先導する。

～ 2020年の関西は、世界の持続的発展に貢献～

．現状をどう認識しているか？

1．世界中から企業や人を集める努力が十分でない

「関西で仕事をしたい」「関西に住みたい」と本気で思わせる魅力・決め手がない。このままでは、企業や人の一層の流出が懸念される。

2．技術力や創造性を発揮し切れていない

中堅企業を含めて優れた技術を有する数多くの企業、研究機関が存在するが、連携が十分でない。また、地域として世界への情報発信も不十分。

3．地域の自立へ第一歩を踏み出したばかり

関西広域連合の設立に向け、ようやく自治体が動き出したところ。地域発展のための“牽引役”としての自治体への転換が急がれる。

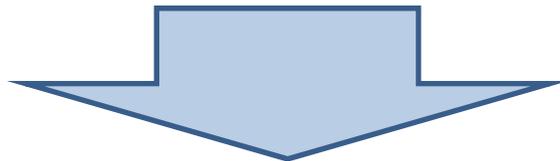
“ありたき姿”をどう実現するか？

地域から世界を変える「突破力」を発揮して

“ありたき姿”を実現したい！

世界・日本を変える「突破力」

= 「強み・特性」 × 「考え方・意志」 × 「具体的な実行」



1. 強み・特性

地域の強み・潜在力を生かす

2. 考え方・意志

培われてきた「関西スピリット」を呼び起こす

3. 具体的な実行

世界の持続的発展に寄与する

「重点的テーマ」を設定

関西の「強みと潜在力」とは？

国内GDPシェアの低下、人材流出・人口減少などが指摘されるが、関西は今なお、世界的にも魅力ある強みと大きな潜在力を有している。

(1) 多種多様な企業・産業・技術の集積

(オンリーワン技術を持った中堅・中小企業が、素材・部品から完成品まで幅広く存在。次世代・先端技術に強みを持つ企業、大学、研究機関も)

(2) 生活者の視点で新商品・サービスを生み出す伝統

(進取の気性あふれる人材。即席めん、プレハブ住宅などを生み出す)

(3) 東アジア各国との緊密な歴史的・経済的関係

(戦前からアジア各国との貿易が盛ん。多くの関西企業がアジアに拠点。アジア各国の要人も数多く来訪)

(4) 「知」と文化の集積

(歴史的経緯、大学を初めとする高度な「知」と文化の集積がある)

(5) 多彩な魅力を有した都市群と豊かな自然

(京都、大阪、神戸など個性ある都市、琵琶湖、六甲山系・生駒山系など)。

「関西スピリット」とは？

- (1) 「世のため人のため」という商道徳が表す「倫理性」
- (2) 新たな技術や発想でピンチ・リスクを
チャンスに転換する「革新性」
- (3) 商売っ気を発揮して「生活」の視点から
新しい時代を提案する「独創性」
- (4) 外部からも広く人材を受け入れ、かつお隣さんとの
共存共栄を重んずる「開放性」と「共生」の風土
- (5) 「ケチ」が褒め言葉となる、本当に有用なものしか
評価しない「合理性」
- (6) 独自の才覚を発揮する「自主独立」の気概

. 2020年に向けた「重点テーマ」とは？

(1) 「環境・エネルギー革命」で世界を大転換！

→新エネ、省エネ、原子力で「低炭素化社会」を先導。

(2) 「くらしを“面白くする”ビジネス」「観光」で世界をリード！

→「情報家電」「食」「コンテンツ」「観光」「スポーツ」「医療」などで、
世界の人々のくらしを“面白く”する

(3) 「KISP^(注)」強化でアジア・世界の「ものづくり拠点」に！

→技術力ある中堅企業群を強化し、関西をアジア・世界のものづくりを支える地域に。アジアNo.1高効率の物流インフラを整備。

(4) 「知識と知恵」の一大集積・創出拠点に！

→世界中の企業・大学の「連携・融合」で、
これから生じるどんな世界的課題にも解決を提案

(5) 道州制の実現で分権型社会を構築！

→道州制の実現で、国際的に魅力と競争力ある地域に

(注)KISP(Kansai Independent Supply Partner)：関西における技術力を有した独立系の中堅企業。

- 1. 「環境・エネルギー革命」のプラン例は？

1. 新エネルギーの開発・普及や

環境ビジネス拡大に向けた取り組み強化

- (1) 大阪駅北地区2期事業やけいはんな学研都市で環境先進モデル都市を創出
- (2) 住宅をベースに太陽光発電、燃料電池など新エネルギーの開発と普及を促進
- (3) 次世代環境技術普及促進のための政策提言や海外へのPRの強化

2. アジア諸国に対する環境技術の提案と

環境に関する人材育成支援

- (1) 中国、インド、ベトナムなどアジア諸国に対して
 - 環境問題解決に資する技術や都市づくりノウハウを提案
 - 例：「水に関するトータルソリューション」の提示
 - 例：都市交通の整備などを総合的に提案する「関西まるごと輸出計画」
- (2) アジア諸国の環境問題解決に資する人材育成支援
 - 例：「アジアの環境人材育成 関西フォーラム(仮称)」の創設

3. スタイリッシュ・エコライフの提案

- ・関西共通エコポイントの拡大など環境に配慮したライフスタイルを提案

- 2. 「くらしを“面白く”するビジネス」のプラン例は？

- (1) 「食と農」に“こだわる”関西から食文化を世界に発信
農商工連携などにより健康・安全・安心・豊かな食文化を関西で創出
“おいしい・うまい”「食」の関連産業を輸出産業として育成・強化
- (2) 関西を世界No.1の先端・高度医療拠点に
21世紀の医療ニーズを先取りした
「臓器再生総合メディカルセンター」の設立
- (3) 演出力ある関西を育てる
～ 関西を魅力的にプロデュースし世界に楽しさ・感動を提供～
世界の優秀なマンガ作品・制作者などに授与する
「マンガ・アカデミー賞」の創設
映画・音楽・ファッションなどポップカルチャーと世界遺産・伝統文化等の
融合による「豊かな暮らし」と「魅力ある観光」の振興

- 3 . アジア・世界の「ものづくり拠点」のプラン例は？

(1) 技術力ある中堅企業群(KISP)の強化・集積

研究開発投資などに固定資産税を減免するなど、
税負担の軽減や諸規制の緩和を実施する「KISP特区」の創設
KISPと大企業・大学・研究機関等との技術交流会の開催
KISPのグローバル展開支援

(2) 「21世紀関西版ポート・オーソリティ構想」の実現

関西国際空港・大阪国際空港・神戸空港の3空港と大阪湾・日本海側の
諸港、さらに阪神高速道路など幹線道路を総合的に整備・運営・管理できる
組織の検討を行うなど、アジアNo.1の低コスト・高効率の物流インフラを整備

- 4 . 「知識と知恵」の集積・創出拠点のプラン例は？

(1) 「知」の再集積・ネットワーク形成

大阪駅北地区におけるナレッジ・キャピタルの中核施設としての
アジア太平洋研究所構想の実現
研究拠点・大学を活用した知の拠点形成と有機的連携

(2) アジアNo.1、世界No.1 住みやすい地域形成に向けた 都市・住環境整備

交通標識などへの外国語表示の普及
外国人が利用しやすい学校・病院など生活インフラの整備
自由なコミュニケーションを可能とする技術の活用

(3) 「エンタープライズ・関西(仮称)」の設置

海外企業・研究機関等の誘致活動、海外に対する関西プロモーション活動の
ための専門組織「エンタープライズ・関西(仮称)」を官民連携により設置

- 5 . 道州制の実現で分権型社会構築のプラン例は？

(1) 関西広域連合の設立と機能拡充

府県域を超える広域圏での地域経営力を向上させ、効果的な地域戦略の実行が可能となるよう、関西広域連合の機能を拡大

・ 関経連の役割とは？

(1) “ありたき姿” 実現に向けた「先導役」

ビジョンにもとづき、実現すべき経済社会や地域の発展の将来像や方向性を提案し、多くの主体の賛同を得ていく。

(2) アクション実行の「コーディネーター役」

アクションの実行に向けて、関係各界と連携・協力していく。

(3) 新たな課題設定やシステム変革を迫る

「調査研究・政策提言役」

関西ビジョン2020(俯瞰図)

関西の強みと潜在力

- (1) 多種多様な企業・産業・技術の集積
- (2) 生活者の視点で新商品・サービスを生み出す伝統
- (3) 東アジア各国との緊密な歴史的・経済的関係
- (4) 「知」と文化の集積
- (5) 多彩な魅力を有した都市群と豊かな自然

関西スピリット

- (1) 「世のため人のため」という商道徳が表す「倫理性」
- (2) 新たな技術や発想でピンチ・リスクをチャンスに転換する「革新性」
- (3) 商売っ気を発揮して「生活」の視点から新しい時代を提案する「独創性」
- (4) 外部からも広く人材を受け入れ、かつお隣さんとの共存共栄を重んずる「開放性」と「共生」の風土
- (5) 「ケチ」が褒め言葉となる、本当に有用なものしか評価しない「合理性」
- (6) 独自の才覚を発揮する「自主独立」の気概

2020年に向けて重点的に取り組むテーマ

- (1) 「環境・エネルギー革命」で世界を大転換！
- (2) 「くらしを“面白く・豊かにする”ビジネス」でアジア・世界をリード！
- (3) 「KISP」強化でアジア・世界の「ものづくり拠点」に！
- (4) 「知識と知恵」の一大集積・創出拠点に！
- (5) 道州制の実現で分権型社会を構築！

世界・日本の現状と課題

世界：グローバル化の進展により「チャンス」と「リスク」を同時発生

地球環境問題、資源エネルギー問題
世界経済の急激な構造変化など

今こそ関西の本領発揮のとき

「突破力」で

関西から世界・日本を変える！

日本：世界で果たすべき役割は大きいはずなのに...

内向き志向で国際的地位低下と発言力低下、少子高齢・人口減少、地方の衰退・社会全体に閉塞感など

2020年の世界・関西の“ありたき姿”

関西、おもしろい！

- Dynamic Kansai! -

多様性・活力 関西
多様性(ダイバーシティ)の高まりによって地域に新たな活力が生じる。多様性は創造性を生み、世界が直面する課題解決への提案も次々に発信。

技術・創造力 関西
多様で層の厚いものづくり基盤産業の集積と大学・研究開発拠点との連携・融合により、世界が希求する革新的な技術、商品・サービスが次々と生まれる。

自立・地域力 関西
世界的な地域間競争のなかで、自ら考え判断し、関西一体となって行動する自立した地域となり、分権型社会を先導する。

～世界の持続的発展に
貢献する関西へ～

ま と め

(1) キャッチフレーズ : 「突破力」

(2) ありたき姿 : 「関西、おもろい！

- Dynamic Kansai! -」

多様性・活力、 技術・創造力、 自立・地域力

(3) 重点テーマ :

環境・エネルギー革命

くらしを面白くするビジネス

世界のものづくり拠点強化と物流インフラ

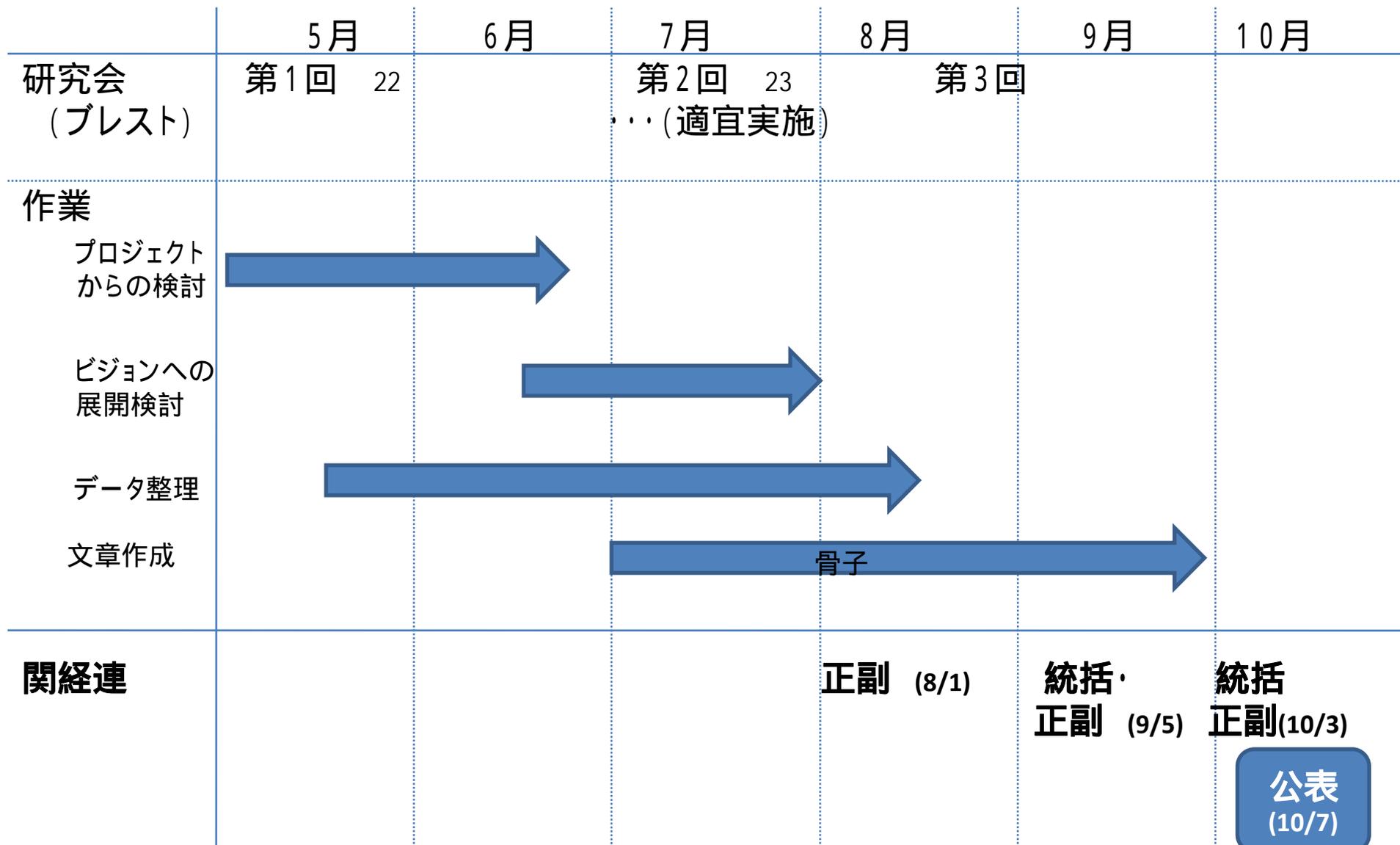
知識と知恵の集積・拠点

道州制・分権型社会の構築

新・関西ビジョン研究会メンバー

- (座長) 吉田和男 京都大学大学院経営管理研究部 教授
- (メンバー) ポール・デュブイ ウォールストリートアソシエイツ 西日本代表
- 高橋智隆 ロボ・ガレージ 代表
- 松本吉彦 NPO法人ゼロエミッション・プラットフォーム理事
- 広石拓司 (株)エンパブリック代表取締役
- 大西健太郎 関西電力(株)秘書室マネージャー
- 神戸宏明 (株)神戸製鋼所業務部課長
- 渡辺秀尚 (株)島津製作所経営戦略室課長
- 前田祥吾 住友金属工業(株)大阪総務室担当部長
- 神原勝彦 パナソニック(株)秘書グループ関西財界担当参事
- 柴田有三 NPO法人KGC(Knowledge Gathering & Connection)理事長
- (オブザーバー) 前田浩文 近畿経済産業局総務企画部企画課課長補佐
- 長尾正博 (財)関西社会経済研究所事務局次長

新・関西ビジョン研究会 検討スケジュール



公表
(10/7)